宗報18-01読物.qxp_宗報 2018/05/21 10:25 ページ 51

海外の浄土真宗事情

第18回 南アルバータ仏教会（カナダ開教区）

BUDDHIST TEMPLE OF SOUTHERN ALBERTA

カナダのアルバータ州は日本の二倍という広大な面積である。この州の南端、アメリカとの国境近くに、現在約十万人が住むレスブリッジ市がある。二〇〇七（平成十九）年、レスブリッジ市及びその周辺に住む仏教徒は新会堂建設のため、二エーカー（約二千五百坪）の土地を購入した。そして翌年二〇〇八（平成二十）年十二月、南アルバータ仏教会会堂は総工費四億円をかけてほぼ完成した。翌年一月十六日には報恩講が厳修（ごんしゅう）され、四月には新会堂落慶法要が盛大かつ厳粛に営まれ、光真前門主様から祝辞も頂いた。これが南アルバータ仏教会のスタートである。

しかし、新しい仏教会が完成されるまでには、南アルバータに散在していた「六つの既存仏教会」（レーモンド、コールデール、テーバー、ローズメリー、レスブリッジそしてレスブリッジ本派の各仏教会）の合併という難しい問題があった（但し、ローズメリー仏教会は一九九五〔平成七〕年に閉鎖され、法友会の名のもと家庭法座が毎月一度行われていた）。

一九四一（昭和十六）年十二月に始まった第二次世界大戦によって、カナダ西

南アルバータ仏教会 外観

宗報18-01読物.qxp_宗報 2018/05/21 10:25 ページ 52

南アルバータ仏教会 内陣

岸に住んでいた日系人は強制移動させられ、その一部はアルバータ南部に移動。レスブリッジ近郊には当時、約三百世帯の一世、二世が居住していた。しかし、レーモンドには戦前より日本人の集まりが存在し、一九二九（昭和四）年にはすでに、モルモン教の古い教会を購入してレーモンド仏教会を建てていた。そこでは会費を払い、仏教会の会員となり、建物を運営し仏教を護持していくという制度が生まれており、本願寺に開教使も要請されていた。その年、初代開教使（永富信常師）が派遣されている。その後、一九四二（昭和十七）年にコールデール仏教会とテーバー仏教会が建てられ、一九四三（昭和十八）年にはピクチャー仏教会（のちにレスブリッジ仏教会に吸収される）が建てられた。レイモンド仏教会とピクチャー仏教会には、日本食品を扱う簡単な購買店も設けられていた。戦後一九五二（昭和二十七）年になると、ローズメリー仏教会が生まれた。同年、カナダ政府よりレスブリッジ市内に住むことが許可された日系人は、レスブリッジ仏教会を建立した。その後、一部の仏教徒の中に分裂が起こり、一九七〇（昭和四十五）年にレスブリッジ本派仏教会が同じ市内に建てられている。全ての仏教会には日曜学校と婦人会があり、仏教発展の後ろ盾となっていた。

南アルバータ仏教会　BUDDHIST TEMPLE OF SOUTHERN ALBERTA
470-40th Street South, Lethbridge, AB T1J 3Z5 CANADA

　このようにして各仏教会は、日本の文化（生け花や民謡など）も取り入れなが

宗報18-01読物.qxp_宗報 2018/05/21 10:25 ページ 53

ら開教使たちを中心に成長していった。しかし一九七〇年代も半ばになると、二世、三世の他人種との結婚も珍しいことではなくなり、また若者の都会への動きも頻繁となった。一九八〇年代には、各仏教会に非日系人の出入りも多くなってきたが、全体的に会員減少が目立ってきた。コールデール仏教会は会員が二十名まで減り、冬の暖房費の支払いも深刻な問題となるほどであった。同じように、他の仏教会の運営も簡単なことではなくなってきた。

バザーの準備

二〇〇二（平成十四）年の頃よりone temple, one congregation（一つの仏教会、一つの集まり）のスローガンの下に、開教使（当時、一人の開教使が五つの仏教会とローズメリー法友会を兼務）は各仏教会を巡回することなく、一つの仏教会に常時駐在し、法座が毎週開かれる、という新たな仏教会の動きが始まった。二〇〇六（平成十八）年には本願寺との連絡を密にしながら、南アルバータ仏教会が宗教法人として発足。同時に散在する仏教会は閉鎖。そして売却された。レーモンド仏教会の宮殿（くうでん）はカルガリーへ、コールデール仏教会の宮殿はアメリカ東部に送られた。テーバー仏教会の宮殿はレスブリッジ博物館へ寄贈された。最も新しいレスブリッジ仏教会の宮殿は、南アルバータ仏教会の本堂に、またレスブリッジ本派仏教会の阿弥陀如来像は日曜学校のクラスにご安置されることになった。

盆踊り

今、南アルバータ仏教会は、二百五十人の会員が一体となり、親鸞聖人のみ教えを心の支えとし、毎週日曜日の法座、子供のための日曜学校を行っている。春には花祭りが、また夏には市内の中心で盆踊りが賑やかに行われ、お盆法要にはアルバータ各地からの参詣を得て盛んである。二〇〇二（平成十四）年に発行された月一度の会報「ひかり」は本願寺にも送られている。

（南アルバータ仏教会駐在開教使　泉康雄）